

事例紹介

パネルのパフォーマンスをうまく引き出してCO2削減

事業所 名称	生活協同組合コープかごしま	施設概要	パネル：324.9 kW パワコン：204.95 kW 蓄電池：15.0kWh
施設名	コープ国分店	電力使途	平常時：店舗の照明、事務室のPC等に使用 停電時：店舗の照明、事務室のPC等に使用
所在地	霧島市国分	発電開始	令和5年2月

取組のきっかけ	事業所の方針として環境配慮に注力している。そのためCO2削減の視点から導入を決めた。電力料金高騰の折から必要であった。
事業の取組方法	自家消費用に太陽光発電設備及び蓄電池を整備した。 太陽光パネルは消費施設の屋上に設置している。 余剰分の売電契約はしていない。（全量自家消費）
事業の成果	電気代（使用料そのもの）が削減でき経費削減につながり大変満足している。さらにCO2削減の効果も大きいと感じている。
課題	大きな初期投資が必要なこと。
今後の展開	同時に設置したコープ川内店でも同様な成果がある。今後も県内の各店舗において、展開可能なところから広げていく。

年間増収効果	年間CO2削減量
約800万円 (料金の変化から算定)	138.3トン

注目ポイント

- ・電気料金が年間約800万円削減できている。補助金活用後の初期投資負担額が約4200万円あったが、約6年で回収できる見込み
- ・CO2排出削減も年間138.3トンと大きくなっている。



↑
蓄電池（事務所外壁）

←太陽光パネル（屋上設置）